

第2学年実践事例 「もっとまちの人となかよくなるう」 からの抜粋

単元名 もっとまちの人となかよくなるう

単元について

・自ら考え、学びを深め合う授業をめざして

自分の考えを書く活動と話し合う活動に重点をおいた単元計画を考えた。書く・話す・聞く活動を組み合わせることにより学びが深まると考えたからである。

まず、自ら考えるためには、文章を書くことから始まる。また書くことによって考えを深めることもできる。そのため見学先ではもちろん見学前や見学後にも書く活動を必ず取り入れた。本単元では、見学後の学習にも資料として生かすためワークシートを活用することにした。

学級全体で話し合う前には必ずペア対話をさせるようにした。自分の考えを書いた後、ペア対話することにより、自信を持たせ発表することへの抵抗感を失くすためである。また、話し合い活動を活性化させるためにリレーションシートをもとに話し合い活動の課題を設定した。さらに、話し合い活動では、教師の発言をできるだけ少なくし、相互指名で話し合いを進めていきたい。

単元の目標

自分が住んでいる地域の施設を見たり、話を聞いたりすることを通して、地域の人々とのかかわりを広げることができる。

見学に関する様々な活動において、自分の課題に向かって友達とかかわりながら意欲を持って取り組むことができる。

見学して気付いたことやわかったことなどを自分たちに合った表現方法で、友達等、身近な人に知らせることができる。

見学に関する様々な活動を通して、友達や地域の人など、身近な人とかかわることの喜びを感じながら、それらの人々のよさに気付き、また、自分の成長にも気付くことができる。

自分が住んでいる地域の施設の様子、そこで働く人々の様子、また自分の生活とのかかわりに気付くことができる。

学習指導計画・評価計画（全24時間・国語1時間）

内の数字・・・時間数

学習活動

関心・意欲・態度

思考・表現

< >内・・・評価方法

気付き

・児童の予想

	目標	学習の流れ（学習活動・児童の反応）	評価規準・支援（ ）
思い・願い	夏休みに町でかかわった人や体験したこと、行った場所を教え合い、町の人や場所とのかかわりに関心を持つことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">夏の町でしたことを紹介し合おう。</div> 夏休みにしたことを発表する。 ・スタンプラリーでいろいろな所に行ってお土産をもらったよ。 ・公園で遊んだよ。	友達との交流を通して、町にはまだすてきな場所や魅力的な人がいることに気付く。 <つぶやき・ワークシート>

つかむ・活動する	町にある公共物や公共施設に関心を持ち、実際に利用するなどして、多くの人が使うものや施設であることに気付く。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">下知図書館へ行こう。</div> 準備をする。 下知図書館へ行く。 まとめをする。 ・誰でも本が借りられるよ。 ・大きな活字の本があったよ。 ・通路は、車いすが通れるくらい広がっていたよ。	身の回りの公共物や公共施設に関心を持ち、それらを大切にしたり、正しく使用したりしようとしている。〈行動・会話〉 町にはみんなが使うものやみんなのために役立っているものがあることに気付く。 〈つぶやき・ワークシート〉
	新たな場所に出かけ、町の人や場所とのかかわりを広げることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">共同作業所へ行こう。</div> 準備をする。 共同作業所へ行く。 まとめをする。 ・スロープがあったよ。 ・牛乳パックや箱をたたんでいたよ。	これまで気付かなかった町のすてきな所に気付く。 〈つぶやき・ワークシート〉

指導の実際

【第1・2・3時】思い・願いを紹介する

学習の導入として、夏休みに町でかかわった人や体験したこと、行った場所を教え合い、町の人や場所とのかかわりに関心を持つことができた。

「夏の町で・・・」という題でカードに書き出し、分類し紹介し合った。「公園」「お店」「下知図書館」「神社のおまつり」など多岐にわたっていることがわかり、子どもたちの活動範囲の広がりを感じた。また、子ども同士がこれまでに知り得た情報を紹介し合うだけでも自分たちの町についての知識を深めることができていた。

【第4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16時】つかむ・活動する

町に行く計画を立てよう。

見学の事前学習として、ワークシートへ記入することを通して、その施設の概略を学ぶと共に見学意欲を高めることができた。また、見学の際には、見聞きしたことをワークシートに書き込み、見学後には、そのワークシートを資料として課題について考え合う学習を行った。

下知図書館

身近にある図書館なので、子どもたちもよく利用しており、具体的な気付きが多く出された。また、学校の図書室と比べることにより興味・関心を持つことができた。知っていることを発表し合う中で、「？」の項目も出され、見学への意欲を高めることができた。そして、見学に出かける際には、「人にやさしい物」をテーマに点字ブロックや音の出る信号などにも目を向けさせるようにした。

共同作業所

9月第1土曜日にある「すずめまつり」のちらしが学校で配られた。どのクラスでも何人かの子どもが参加し、「すずめまつり」の様子を発表してもらうことを通して、さらに関心を高めることができた。また、前回見学に出かけた図書館と比べることにより、「障害のある人へのやさしさ」を見つける視点が育ってきた。